



飯能ロータリークラブ会報



唐竹晩秋 Karatake in late autumn

© photo by Isao Yoshida

“人類に奉仕するロータリー”

RI会長 ジョン・ジャーム

2570地区ガバナー 前嶋修身

第3グループ
ガバナー補佐 野本俊光

「知恵と元気を」

第2716例会 2016. 9. 7

—— 基本的教育と識字率向上月間 ——

天候 曇 (NO. 53-10)

会長 小川晃男 幹事 矢島高明

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 藤原君、福島君

例会場: ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/

E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・黙 禱 小川会長御母堂様ご逝去
- ・点 鐘 小川会長
- ・ソング 君が代 奉仕の理想
- ・四つのテスト斉唱 木川職業奉仕委員
- ・卓 話 澤田清志様

【会長報告】

本日3時50分に母が亡くなりまして皆様にはご迷惑をお掛けする事になると思います。公式訪問はご協力を頂き無事終わらせる事が出来ました。いくつかの進行上のミスは、ロータリアン同士の友情に免じてお許し頂ければと思っております。扇子型バッジをガバナーから頂きました。モチーフは熊谷直実。一ノ谷の合戦で平敦盛の首を刎ねるのですが息子も戦で大怪我を負った事もあり、16歳の若者の首を刎ねた事に武士の無常を感じて出家してしまう。法然の下で仏教の勉強をし、晩年は熊谷市に住み、念仏を唱えながら亡くなったと聞きます。幸若舞『敦盛』。信長が戦の前に歌う「人間五十年、下天のうちを比ぶれば夢幻の如くなり。一度生を享け、滅せぬものあるべきか」。私はその前段が好きです。「思へばこの世は常の住み家にあらず。草葉に置く白露、水に宿る月よりなほあやし。きんこくに花を詠じ、栄花は先つて無常の風に誘はるる。南楼の月を弄ぶ輩も月に先つて有為の雲にかくれり」直実の心の風景かなと思うわけです。信長は何故この謡が好きだったのか。公式訪問の皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。

【幹事報告】

第4回理事会: 前回議事録確認。10月プログラム承認。親睦ゴルフは25名の参加予定。懇親会はヘリテージ。10/22移動例会32名の参加予定。出席向上委員会よりの提出書類

は再検討。会長より「楽しい例会をたくさん開いて頂きたい」。新入会の加藤会員は本日欠席で、MUについていろいろな問合せがありました。「第1回目から欠席で申し訳ございません。MUは必ず行ってきます」との事です。◎小川会長御母堂様葬儀: 通夜9/13(火)18時、告別式9/14(水)9時、飯能法要殿。クラブで受付を担当させていただきます。

◎例会変更のお知らせ

◇所沢RC

- ・9/20(火) 例会取止め
- ・9/27(火) 例会振替9/29(木)企業見学
- ・10/11(火) 例会取止め
- ・10/25(火) 例会振替10/30~31親睦旅行

【委員会報告】

◎米山記念奨学委員会

小谷野君

本日小川晃男会長より米山特別寄付3回目を頂きました(拍手)。

◎会報・広報委員会

川口君

ロータリーの友事務局より2016-17年度「英語版ロータリーの友」ご案内。日本語版の1年間の記事から抜粋したものです。購入希望者は今月中に私までお願いします。

◎親睦活動委員会

前嶋君

親睦ゴルフコンペ、夜間例会の出欠通知を今日中に私か事務局までお願いします。

◎大野康会員

ボールハリ

スフェローの

認証状を会長

より授与。

(拍手)



【出席報告】無断欠席0 中山出席向上委員長

会員数		当日		前々回修正 出席率
全数	対象	出席数	出席率	
55名	6名	48名	87.27%	88.89%

【M U】

9/5 (池袋西) 加藤君

【S A A報告】

◎ニコニコBOX

・澤田先生ようこそ！本日はよろしくお願ひ致します。中里(昌)君、矢島(巖)君、神田(康)君、細田(吉)君、小川君、矢島(高)君、島田君、大野(康)君、福島君、本橋君、和泉君、馬場君
 ・76才にしてやっと初孫に恵まれました。柏木君
 ・高1 砲丸娘、10月岩手国体選手に選ばれました。砲丸投と円盤投です。大野(康)君
 ・遅刻 細田(伴)君
 本日計17,000円、累計額141,002円。
 ◎14日例会当番は細田(伴)、橋本会員です。

【卓 話】

講師紹介 市川青少年奉仕委員長

飯能の文化について

飯能市教育委員会教育長 澤田清志様

「稲架(はざ)取れて野に幻想の獅子の笛」諏訪八幡神社境内に吉良蘇月の句碑が佇んでいます。吉良先生は文化協会を設立、俳句協会の初代会長をされた方です。獅子舞や神楽は文化の継承として代々受け継がれて欲しいもの。どこの地域でも子ども達が参加させて頂き、文化継承の役に立っていると思っています。全国で起こっている子どもを取り巻く事件や事故の小型版は、毎日のように飯能でも起こっています。東松山の事件には現役の中3生が3名関わっていた。昨年の川崎も先輩後輩の関係。飯能市でも先輩後輩のグループ化は一部あります。今年4月、学校長に3つの事を話しました。1) 子ども達に大きな声を出させる。2) 志をもてる教育。3) 釈迦に説法をし続ける。1) いざという時、大きな声で自分のいのちを守るように。あってはならない事だからこその底から声を出す歌をうたう。2) 2つの中学校で「立志式」を実施。元服14歳(中2)が夢、感謝の言葉を親、先輩後輩に向けて発する。小学校では「2分の1成人式」。夢や希望を語れる時間を創って欲しい。3) 校長がこだわってものを言っていく。保護者に対して説教も出来ないようではいけない。

『文藝飯能』には校長会の頁があります。夏の校長旅行で2句を詠み、バス内で「〇」を付け、宴会で表彰する。最初の年、『奥の細道』の山寺と、震災後でしたから仙台にも寄りました。翌年『坂の上の雲』の大連203高地へ。今年は北海道新幹線に乗り。一席は「蝦夷富士を背中に遊ぶ赤蜻蛉」だそうです。

「文化」というのは非常に見えづらい。現場に居た時、5年生数人が校長室に来て「文化って何ですか」と聞いてきた。「音楽」であれば昔の人達が歌い続けて来た曲、楽器を奏でる事、「書道」であれば書初め、「国語」では俳句や短歌、物語文等、皆の生活に非常に関係があって心を豊かにしてくれるものだよと話しました。先日「郷土芸能フェスティバル」には二丁目親和会、五日市上町囃子連(間野地区のお囃子がルーツ)、阿波踊りむさし葵連(阿波踊り協会所属)が出演、非常に派手で賑やかに盛り上がりました。これらも大きな文化、芸能だろうと思っています。

「飯能文化」という言葉があるとするれば、一時期、飯能に文化人が集った時期がありました。詩人・千家



元麿は関東大震災後、親子4人で妻の出身の中山に越して来た。S20年、南川(妻の姉の夫の生家)に疎開。交遊のあった中西悟堂(僧侶・詩人・日本野鳥の会創立者)も震災後、青梅・間修院を訪ね、中井・宝蔵寺の留守番役を紹介されます。広渡寺住職の姉が嫁いでいた間修院住職は「自分も毎週行くし、米や味噌も置いてある。野菜は農家に言えば持つて来る。風呂も沸かせるようになっていた」と言ったそうです。千家の妻の実家(中山)にも近かった。妻は美術愛好家で、日本画家・美術評論家の牧野吉晴、詩人・金子光晴が飯能に訪れた。そのように文化人が文化人を求めながら飯能の地にやって来ました。

蔵原伸二郎は熊本・阿蘇の出身。昭和の戦争を挟んだ時期、戦禍を避けて疎開。S20年、岩蔵から吾野・三社に住む。のち、本町・吉良歯科の離れに居住。吉良先生も熊本の出身。大通り商店街の長屋、豊岡・扇町屋と転々とした後、S28年、河原町に戻り、亡くなるまで戦後20年間を過ごしている。亡くなる直前、詩集『岩魚』が読売文学賞を受賞。「不遇の詩人」と言われ、亡くなるまで質素な暮らしをされていた。文化財保護審議委員として飯能焼を研究。各校の校歌を作词。「天覧山に朝日がはえてはつらつ飛ぶよ小鳥のむれが」第一小学校校歌はS33年の作。他に南高麗小、加治小、精明小、名栗小、名栗中、高麗小、高萩小、西武小、西富小、小手指中、所沢中。ニコニコ池にある詩碑は、亡くなった翌年(S41年)、能仁寺住職が会長を務めていた飯能市観光協会によって設置。「めぎつね(『岩魚』)の一節が自筆による文字で刻まれています。交遊があったのは慶應で同級生の石坂洋二郎、中国文学者・随筆家の奥野信太郎、仏文学者・詩人の青柳瑞穂、芥川賞候補となった中谷孝雄(本町に「中谷孝雄文学館」があった)、学生時代に下宿が隣だった棟方志功、等。

「戦後の荒廃を救うには文化運動しかない」と、S22年8月、文芸誌『飯能文化』が創刊、翌年7月まで発行されます。物資も食料も貧しい時代に想像を絶する苦労があったと思います。発起人は吉良蘇月(憲夫)、小川文雄(耳鼻科医)、野口家嗣。顧問は蔵原。多くの文人、芸術家の交流を促し、『天の園』打木村治、人間市出身の歌人・石川信夫、棟方志功、俳人・水原秋桜子、石田波郷、等が関わっています。飯能では、町田多加次、田中順三、森和夫、小谷野寛一(S28年に再び蔵原を飯能に呼び戻した)等。飯能には多くの良き理解者が居たと聞きます。それは作品の魅力以上に蔵原の人間としての魅力によるものと思います。

文化の振興は認識のある方々のお力添えによって成り立っています。行政は縁の下で力を発揮しなければなりません。飯能RCからは毎年寄付金を頂き、図書館への月刊誌寄贈のスポンサーとしてもお世話になっています。若い芸術家を育てて頂けたらと思います。

平成28年10月のプログラム
(月間テーマ 経済と地域社会の発展月間)

月 日	例会数	行事予定	当 番 [担当委員会]
10. 5	2,720	卓話「植物の基本原則【四つのテスト】 が解ると植物がよく見えてくる」 西川木楽会 佐藤 博様 (人間市)	石井君 和泉君 [プログラム]
10.12		夜間例会日程変更12(水)→22(土)	
10.19	2,721	卓話「ポール・ バーシー・ハリスの生涯」その3 飯能ロータリークラブ 増島宏徳会員	石川君 伊澤君 [プログラム]
10.22	2,722	夜間例会《薪能鑑賞会》 ホテル・ヘリテイジ熊谷 18:00	神田(康)君 木川君 [親睦活動]
10.26	2,723	例会取消 (定款による)	